

令和3年度 島根県学力調査結果及び分析（松江市立揖屋小学校）

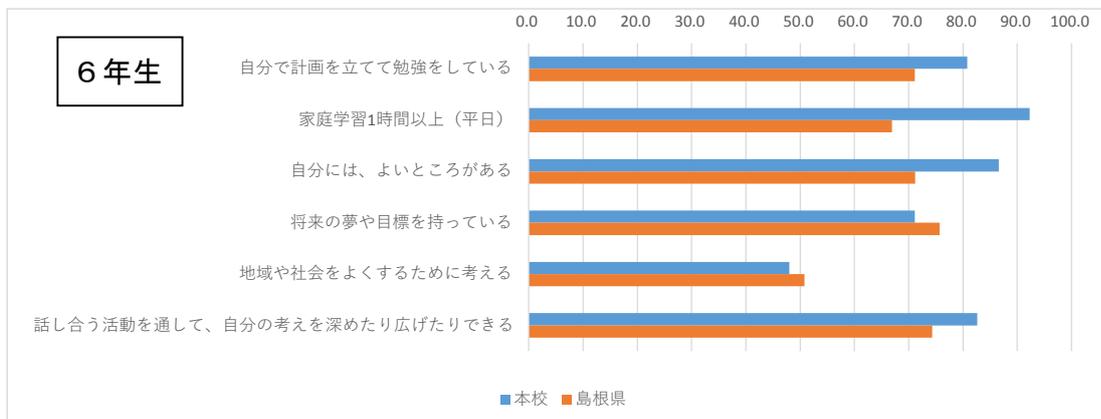
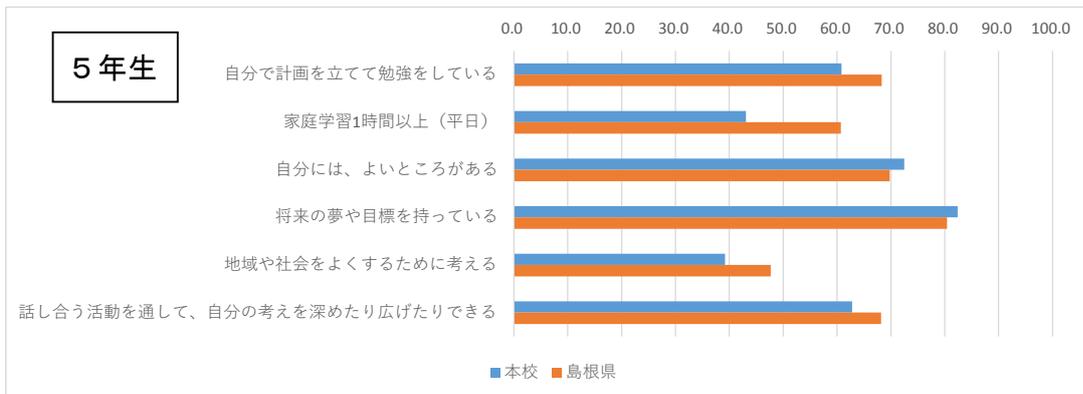
(1) 学力調査結果から見られた成果と課題（○：成果 ●：課題）

5年国語	<ul style="list-style-type: none"> ○読解力については比較的よい結果であった。 ○話し合いの内容を聞きとり、捉えることができています。 ●文章を書く力を伸ばしていく必要がある。特に意見文を書くために、日頃から自分の考えをもつことを習慣づけたい。 ●漢字の由来についての問題では、誤答が多かった。言葉の学習を丁寧に行っていく必要がある。 	6年国語	<ul style="list-style-type: none"> ○全般的によく理解できていた。 ○日常的に家庭学習で新聞等を読み、それについて「自分の考え」を「書くこと」を積み重ねてきており、成果が結果にあらわれていた。 ●予想される反論を具体的に書く問題では反論を予想することができず、やや正答率が低かった。議論する経験を積んでいるが、議論の展開を予想することは難しかった。
5年算数	<ul style="list-style-type: none"> ○図形の角や合同の問題では、目標値以上の結果であった。 ●小数のかけ算・わり算の問題では計算間違いがあり、正確な答えを導くことができなかった。小数の概念の理解を正しくするとともに、計算練習を積み重ねたい。 	6年算数	<ul style="list-style-type: none"> ○全般的によく理解できていた。 ○「わからないこと」を楽しめる子どもをみざして授業づくりをおこない、子ども同士が交流し学び合う時間を多く確保してきた。それは思考力の伸びにつながり、ねばり強く問題解決に向かう素地となった。 ●比を簡単にする問題で正答率が低かった。 ●自分で情報を選択して解く問題にはやや抵抗があるので、グラフや表から読み取る問題に丁寧に取り組みたい。

(2) 生活意識調査から見られた成果と課題（○：成果 ●：課題）

5年	<ul style="list-style-type: none"> ○自己肯定感が高く、学習に対して意欲的であった。 ●メディアに触れる時間がやや多かった。 ●家庭学習に取り組む時間がやや少ない。自ら課題を選択して、必要感もち家庭学習に取り組む力をつけたい。 	6年	<ul style="list-style-type: none"> ○1時間以上家庭学習に取り組む子どもが多かった。 ○内容のある自主学習に取り組めるようになった。 ●メディアに触れる時間がやや多かった。
----	---	----	--

(3) 意識調査(教育委員会として注目している項目のうち、全国学力・学習状況調査と同様の質問項目を挙げています)



【受検者数】 5年生 51名 6年生 52名

※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示。